



東京立川
ロータリークラブ

【司会進行】

SAA委員会 鈴木 誠委員

【開会点鐘】 中野裕司会長

【ロータリーソング斉唱】

『我らの生業』

【お客様の紹介】 中野裕司会長

【会長挨拶】 中野裕司会長

【慶事祝金授与】 中野裕司会長

【入会セレモニー】

【幹事報告】 田中 太幹事

【委員会報告】

国際奉仕委員会 小松 剛副委員長

青少年奉仕委員会 木村真人委員長

【ニコニコ発表】

親睦委員会 益子悦雄委員

【出席率の発表】 金原宏和委員

12月15日(金)	会 員 数	109名
	出 席 義 務 会 員	103名
	出 席 免 除 会 員	6名
	当 日 出 席 者	92名
	出席免除会員の当日出席者	1名
	出 席 率	88.46%
	12月1日の出席率	92.23% → 100%

【卓話講師紹介】 プログラム委員会

宇都木健太副委員長

【卓話】

拝田由見子様<音楽家>

拝田正機様<ピアニスト>

【閉会点鐘】 中野裕司会長

2017~2018年度 RIテーマ



ロータリー
変化をもたらす

2017~2018年度 国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー

2017~2018年度 クラブテーマ

Be surprised!! Rotary!

「感動を忘れずに!」

東京立川ロータリークラブ
会長 中野裕司



例会時には必ずバッジをつけましょう

Weekly Report

2017.12.15 第2774回 例会



【会長挨拶】 中野裕司会長

今日は12月の「Phrase of the day」の時間としたいと思います。先月11月にお伝えした熟語「be tired of」…「I'm tired of doing this.」もうこれをやるのは飽きたよ、という内容を思い出して頂けましたか。今日は簡単な表現でネイティブ達がよく口にするIdiomを紹介いたします。それでは皆さん韻を踏みましょう! Here we go!!! Let's start the exercise. Today's phrase is「All at once」これは言いかえると、SuddenlyとかAll of a suddenという英語表記になり、「突然」という意味になります。この「all」は副詞で、次にくる言葉を強調する働きをしていて、「at once」は「すぐに」と訳しますので、瞬間的なニュアンスが強調されて「突然」というふうに訳されたのだと思います。例を挙げますと、「All at once, the accident happened」「突然、その事故は起こったんだよ」と言うような時に使われます。Idiomの面白さは、一つ一つの単語の組み合わせで、違った表現になる事が興味深い所だと思います、私だけかもしれませんが。今日のPhrase「All at once」、簡単な英単語表現ですので、是非覚えていたら便利だと思います。ちなみに平井副幹事は外国人の方と話す機会がよくあり、ここで紹介した単語を良く使って頂いているようですので、是非外国人の方に試して頂きたいと思います。恐らく相当英語が堪能だと思われるでしょう。最後にもう一度「All at once」That's all for today!!! See you next week at the Xmas Party.



中野裕司会長

【お客様の紹介】 中野裕司会長

【卓話講師】 拝田由見子 様<声楽家> 拝田正機様<ピアニスト>

中野隆右 様<東京立川こぶしロータリクラブ>



司会進行
鈴木 誠委員



ニコニコ発表
益子悦雄委員



出席率発表
金原宏和委員

【慶事祝金授与】 中野裕司会長 旭日双光章受章挨拶 田島瑞也SAA委員長

本日は誠に有難うございます。感謝感激の極みでございます。これを機に今後もロータリアンの名に恥じぬよう一層精進して参りますので、どうぞご指導の程宜しくお願い致します、有難うございました。



【入会セレモニー】

紹介者 会員増強・分類委員会 坂村英之委員長

昭和47年生まれの45歳で、昭島市在住です。昭島を中心として社会福祉法人多摩育児会として、保育園や内閣府所管の認定こども園を数園経営されております。22年前にご結婚され、奥様と大学生・高校生・小学生の五人家族です。お子様は私の保育園を卒園されましたので、非常に立派に成長されております。昭島の保育園の園長会長や東京都の役職も歴任されております。岡崎さんが結婚される際にご両親からの依頼で、媒酌人をさせて頂きましたが、当パレスホテルで式を挙げられました。



入会者挨拶 岡崎 淳さん



先程ご紹介頂きました通り、22年前に当ホテルで坂村先輩の仲人により挙式させて頂きましたお陰で、今も変わらず過ごしております。この度は伝統と格式ある立川ロータリークラブの入会を認めて頂きまして、本当に感謝しております。至らぬ点等多々あるかと思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。有難うございました。

委員会配属：親睦委員会 アドバイザー：坂村英之

【幹事報告】 田中 太幹事

●11日(月)第3回クラブ協議会が、ホテル日航立川 東京で開催されました。●13日(水)に開催された当地区指名委員会において、国際ロータリー細則、規定に従い、2020-21年度のガバナーに就任するガバナーノミニ・デジグネートとして【東京銀座ロータリークラブ 福原有一 会員】を指名したとの報告を受けましたので、ご報告させて頂きます。●ハイライトよねやま213号 配布しました。●訃報をお伝え致します。当クラブの並木パスト会長の奥様、知子様が12月5日にご逝去されました。ここに心から追悼の意を表するとともに謹んでお知らせ申し上げます。なお、通夜及び告別式は、ご遺族、ご家族の意向として家族葬にて過日執り行われております事をご報告致します。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



【委員会報告】 国際奉仕委員会 小松 剛副委員長



当委員会の事業として、モンゴルの小・中・高一貫校に本を寄贈させて頂きました。感謝状が届いておりますので、中野会長にお渡し致します。

感謝状 東京立川ロータリークラブ 会長 中野裕司殿
貴クラブは、2015年以来毎年新モンゴル小・中・高一貫学校に図書費を寄贈し、本校生徒達に学習活動に多大な貢献をなさいました。モンゴルで発行された最新の有用な各種図書や教材を、図書費で購入する事が出来ました。素晴らしい図書が揃った図書館で、将来を担う優れた人材・人物を育てる場になります。皆様に心から感謝を致します。

青少年奉仕委員会 木村 真人委員長

過日第47回チャリティークリスマスコンサートにおいて、中野様始めとします立川こぶしロータリークラブの皆様、当クラブの皆様にも大変お世話になりました。皆様のご協力で無事に終了させて頂きましたが、至らぬ点等ありました事ご容赦ください。当日の募金合計ですが、当会の募金合計¥82,000と、当日のグッズ販売分と募金との合計で¥577,580となりました。有難うございました。



【ニコニコ発表】 親睦委員会 益子悦雄委員

●中野裕司会長 拝田由見子様、拝田正機様のご来訪を祝して！本日の卓話宜しくお願い致します。楽しみにしています。田島瑞也SAA委員長の旭日双光章受章を祝して！岡崎淳さん、ようこそ立川RCへ・・・入会おめでとうございました。一緒にロータリーライフ楽しみましょう。

●田中 太幹事 本日の卓話講師、拝田由見子様、正機様、本日の卓話楽しみにしておりました。宜しくお願い致します。田島の入会委員長、旭日双光章受章おめでとうございました。岡崎淳さんの入会を歓迎致します。

●田島瑞也さん 私、田島瑞也の旭日双光章受章祝を頂き、誠にありがとうございます。今後ともご指導のほどお願い申し上げます。

●坂村英之さん 岡崎淳さんの御入会を祝して。同業者の三代目です宜しくお願い致します。

●岡崎淳さん この度は、伝統と格式のある立川ロータリークラブに入会させていただきありがとうございます。

●青少年奉仕委員会一同 過日のクリスマスチャリティーコンサートに際しましてメンバーの皆様よりご協力を頂き、無事に終了することが出来ました事、改めて御礼申し上げます。有り難うございました。又、早からの設営のお手伝いを頂いた親睦委員会を始めとするメンバーの皆様にも感謝申し上げます。有り難うございました。

●榎戸岩雄さん 第94回親睦ゴルフ会に参加の皆さまお疲れ様でした。見事なベスグロ優勝の荒口さんお目出度ございます。

●長井 守さん 岡崎 淳さんの入会を歓迎いたします。

●中山賢一さん 岡崎淳さんの入会を祝して、ロータリーライフを楽しんでください。

●織原寛一郎さん 岡崎さんの入会を祝して。

- 山下 明さん 入会記念月のお品をいただきありがとうございます。
- 宮崎昭人さん 岡崎さんの入会おめでとうでございます。ロータリーライフ楽しんでください。
- 渡辺博昭さん 岡崎淳さんのご入会おめでとうでございます。同級生として大変嬉しく思います。
- 端 晶弘さん 岡崎さん、御入会おめでとうでございます。これからの長いロータリーライフ、一緒に楽しみましょう。
- 宇都木健太さん 正機先生、由見子先生、本日は宜しく申し上げます。岡崎さんの入会を歓迎します!!
- 金子幹広さん 岡崎淳さんのご入会を祝して。
- 迎浩一朗さん 岡崎淳さん入会おめでとうでございます。
- 岡山 昭さん 岡崎さん、入会おめでとうでございます。これからよろしくお願い致します。
- 松浦孝治さん 岡崎淳さんのご入会を心より、歓迎いたします。一緒にロータリーライフを楽しみましょう!
- 古屋佳男さん 本日の卓話講師の拝田様、娘がいつもお世話になっております。お話楽しみにしております。
- 松島 孝さん お待ちしておりました。岡崎淳さんの入会を祝して。

本日合計 88,000円 本年度累計 1,527,000円

【卓話講師紹介】

プログラム委員会 宇都木健太副委員長

まず拝田正機様はピアニストとして、また拝田由見子様は声楽家としてご活躍されております。現在は国立市で音楽を通じた情操教育としてスタジオを主宰され、ご指導にあたられております。次女の祥子さんは宝塚歌劇団ご卒業後、2003年から2008年までNHKの「おかあさんといっしょ」で歌のお姉さんとしてご活躍されておりました。我家の子どももその世代でありまして、テレビでは大変お世話になりました。皆様もお孫さんと「おかあさんといっしょ」をご覧になった事があるかと思います。本日は、拝田家が様々な形で携わっている童謡の世界とその魅力についてお話し頂き、後半では皆様の参加型の設えもご用意しておりますので、宜しくお願い致します。



卓話「童謡が紡ぐ日本のこころ」

拝田由見子様（声楽家） 拝田正機様（ピアニスト）



本日この様な状況の中での話しは慣れておりませんので、温かく最後までお付き合い頂けたら幸いです。

私達家族は11年前、立川市の若葉町におりました。現在は国立市に在住しております。その間二人の娘に恵まれて子育てをして参りましたが、それまで二人とも洋楽をしておりましたが、子供が生まれた後は童謡が中心で、家の中や車の中でも歌い、またひな祭りやクリスマスといった行事の際には家族全員で童謡を歌

いました。長女は歌が大好きですが、現在薬剤師をしております。そして次女が先程ご紹介頂きました、はいだしょうこです。最近は童謡や唱歌が歌われる事が少なくなり、大変残念に思っておりますが、幼稚園や保育園、小学校では最近流行の歌をご指導される所も多いようで、基本的な事がスルーされているように感じております。分かりやすく申し上げますと、体育の授業でも水泳の授業でも準備体操をしてから運動を始めと思いますが、歌にも順序があると考えています。そして童謡というのは、小さなお子様スタートとして学ぶにはとても適しているのです。それは音域が狭いからで、無理をしなくても歌えるというのが童謡です。またお子様だけでなくもちろん老若男女が歌えて上手に聞こえるというのが童謡な訳ですから、流行の歌が悪いとは思いませんが、もう少し若い先生達もご理解頂けたらと思っております。ですので最初は童謡や唱歌を学んでから、ジャズであったりロックであったりといった分野を学んで頂けたら嬉しく思います。さて2018年は童謡誕生から100年となりますが、ここで少し童謡の歴史をお話しさせていただきます。童謡の語源は「わざうた」といって神様が人間の口を使って歌う、純粋な子供に神様が歌わせたという事なのです。それが子供の歌になり、わらべ歌になっていったのです。小学校の唱歌が明治14年に誕生し、更にその芸術性を高めるという事で、子供の生活に馴染んだ作品をと考えた文学者の鈴木三重吉が北原白秋の協力を得て、大正7年7月1日に童謡童話雑誌「赤い鳥」が出版されました。唱歌というのは、そもそも詩を主に道德教育のために書かれた物で、曲はドイツの音楽的なものでした。対して赤い鳥に載って生まれた童謡は、童心を重視した詩や、曲も日本的な感覚によって、芸術的な物をより高めようと志して作られました。例えば、「赤い鳥 小鳥 なぜなぜ赤い 赤い実を食べた」という歌がありますが、赤い実を食べたから赤くなったと言うと、では黒い実を食べたら子ども達から質問がかえって来るので、「黒い実を食べた」といった会話になるのです。では赤い実とは何かとなると、さくらんぼやプチトマト等と返答が帰ってくる等、実はかなり遊べる物なのです。そしてカナリア、夕焼け小焼け、どんぐりころころ、靴が鳴る、シャボン玉等が日本の童謡の始まりとなりました。その時代の有名な詩人と、作曲家の名前を挙げてみたいと思いますが、詩人では北原白秋、西條八十、三木露風、野口雨情。作曲家は山田耕筰、弘田龍太郎、成田為三、中山晋平、本居長世で、これを童謡第一期と申します。そして第二次世界大戦後童謡復興運動が起こり、佐藤八郎、中田喜直を中心に新しいタイプの童謡が生まれました。その時代の大きな変化と申しますと、昭和24年にNHKのラジオ放送で「うたのおばさん」が始まり、その番組では新作童謡が歌われ、戦後の日本人に沢山歌われました。めだかの学校、おほしさま、きゅっきゅきゅう等の人気があったようです。これが童謡第二期です。その後の童謡第三期はテレビ放送が始まった昭和36年になります。NHKでは「うたのえほん」が始まり、のちに「おかあさんといっしょ」になりました。ラジオではうたのおばさんでしたが、ここでは映像も流れるという事で、うたのおねえさんとなりました。その中ではおもちゃのチャチャチャというようなラテン系のリズム曲も多く誕生しましたが、歯切れの良いコマーシャルソングに対抗する意味でのリズム路線ではなかったかと思います。まど・みちお、谷川俊太郎、いずみたく、林光に引き継がれ現在に

至っています。我家では主人の交換留学教授という事でニューヨークのコロンビア大学に2年間行っておりましたが、次女は大変おとなしく話も上手ではないのですが、歌を歌うと誰にも負けずに前に出て歌うのですが、話すとなると恥ずかしがって姉の後ろに隠れているような子でした。夫婦共々音楽をしておりましたので、次女は歌であれば実力を発揮出来るのではないかと感じておりましたので、全国童謡歌唱コンクールに応募してみました。そうしましたら、予想外にグランプリ賞をいただき、その時の審査委員長の中田喜直先生から声が掛かりまして、先生と共に全国を回って童謡を歌い、親子共々色々な勉強をさせて頂きました。中田喜直先生は、合唱曲や歌曲等夢のある作品が沢山ありましたが、良く知られているものでは、夏の思い出、小さい秋見つけた、雪の降るまちを等が有名です。そして最近の新しい童謡としては、金子みすゞさんの詩に沢山の方が曲をつけた物があります。先生が亡くなる前にお見舞いに行った際に、「祥子ちゃんが大きくなって詩の意味が分かるようになったら、是非歌って欲しい」との約束を言われました。逆もあります、通常は詩があってそれに作曲家が惚れ込んで曲を作るという事が殆どでありまして、重鎮の作曲家が良い詩を先にとって作曲されてしまう事も多く、若い作曲家の悩みどころでもあるかと思います。そして主人が伴奏をして祥子が歌を歌うという事で、先生との約束も果たしましたし、親子共演という事も叶いました。その中の一曲を紹介させていただきます。

こだまでしょうか

「遊ぼう」っていうと 「遊ぼう」っていう。

「ばか」っていうと 「ばか」っていう。

「もう遊ばない」っていうと 「遊ばない」っていう。

そうして、あとで さみしくなって、

「ごめんね」っていうと 「ごめんね」っていう。

こだまでしょうか、いいえ、誰でもそう。

震災の時にテレビのコマーシャルで頻繁に流れていましたが、私も大好きな曲です。これは童謡歌曲ですが、現在もこのような新しい歌曲が童謡協会から発表されております。そんな事もあって、洋楽よりも童謡に力を入れて合唱団にも歌わせていますけれど、童謡は楽譜を見て歌うのではなく、親から子、子から孫、孫からひ孫と口伝えて歌われる歌だと思っています。母の腕の中で歌われた美しいメロディーであったり、祖母の背中で聞いた懐かしい歌、その美しい日本語に乗せた美しい童謡をこれからも沢山の方に歌って頂きたいと思っています。今はメディアの影響もありますが、ラジオやテレビから美しい童謡が流れてくる事も少なくなったと感じています。山、海を眺めて空や花や草を愛おしく思って、五感で味わいながら、素朴ではありますが人間としての喜びや幸せそして優しさが童謡に沢山詰まっていると思っています。ニューヨークにいる時に、祖国を想って歌った童謡で何度も涙した事を覚えております。先日日本童謡こどもの歌コンクー

ルという全国大会が開催され、12月23日にBS朝日で放送されます。その中で大人の部の最優秀賞三笠宮杯を受賞されたのが、90歳のご老人でした。司会者やスタッフ、客席の皆様が皆様涙しておられました。決して美しい声ではありませんが、年齢から来る重量感と感情あふれる歌声に、会場が一体となりました。それぞれの方々が、自身の人生を思い浮かべ懐かしく感じ、子どもの頃に過ごした美しい田舎の風景が思い出されたのかかもしれません。その時の歌が夕焼け小焼けでした。私達はこの童謡を忘れないように身近なところから始めたいと思い、まずは主人がピアノのレッスンで一曲童謡を歌うようにしています。一年すると何十曲も歌えるようになります。また国立市の協力をいただきまして、国立童謡コンクールを立ち上げました。このコンクールは当然順位はつきますが、競い合うという事よりも沢山の童謡を知って頂いて、その輪を拡げたいとの思いから始めたものです。今年の10月に2回目が開催され、100曲近いエントリーがありまして、1回目よりも大幅にこの輪が広がってきた事を実感しております。この中でファミリーの部というのがありますが、そこでお子様とお父様やお孫さんやおばあちゃんという組み合わせもありまして、核家族化が進む中にあっても童謡を通じて家族の時間を共有出来るという事に、胸がいっぱいになりました。私達はこの美しい童謡を無くさないようにこれからも努力を尽くして参りたいと思っています。娘は桐朋学園小学校から桐朋中学、国立音楽大学附属高校から、2年生の時に中退して、宝塚音楽学校その後宝塚歌劇団へと進みました。その後はおかあさんといっしょに出演したり、大人向けのコンサートを開催したりしております。これから皆様と一緒に歌いたいのは「ふるさと」という曲で、大正3年に尋常小学校6年生の教科書に載りました。作詞が高野辰之、作曲が岡野貞一のコンビでありまして、その曲の他にも「春が来た」「春の小川」「もみじ」「おぼろ月夜」等があります。ここで簡単な手話を交えて歌って頂きたいと思っています。

月 ふるさと 月

うさぎおいし かの山 小鮒つりし かの川
夢は今も めぐりて 忘れがたき ふるさと
いかにいます 父母 つつがなしや 友がき
雨に風に ぬれても 思いいづる ふるさと
志を はたして いつの日にか 帰らん
山は青き ふるさと 水は清き ふるさと



■ 事務局／東京都立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階
【TEL】042-525-4046 【FAX】042-529-2666
【HP】<http://www.tachikawa-rc.org/>
【E-mail】ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp

■ 例会場／東京都立川市曙町2-40-15 パレスホテル立川
TEL：042-527-1111
■ 例会日／金曜日 12：30点鐘
会長／中野裕司 幹事／田中太 会報担当者／安藤永一委員長